

MDC-50Tb(MDC-XS5T ソフト)出荷設定

本機は出荷時、SRMASTERとVTRが制御可能な設定で出荷しています。

ソフト名称 : MDC-XS5T (本体表示 MDC50T-VDCP)

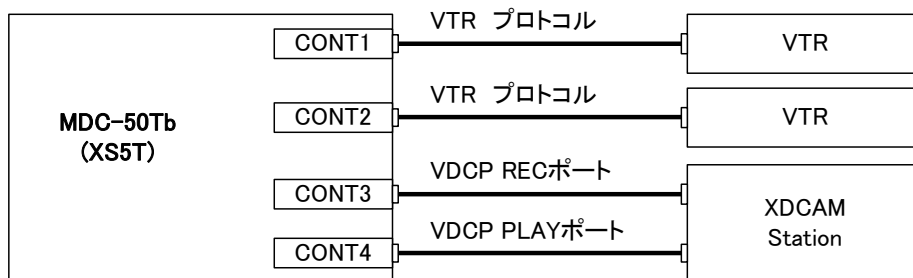
ソフトバージョン : S0140-14 XDCAM Station

SRMASTER SR-R1000

MVX-2200 サポート

※ 標準出荷では、CONT1とCONT2はXDCAM Station設定、CONT3とCONT4はVTR設定になっていますが、お客様のご要望により、以下の通りCONT1とCONT2はVTR設定、CONT3とCONT4はXDCAM StationになるようにMENUの設定変更を行い対応致しました。

※ 設定方法は、「**■VDCPとVTRプロトコルの設定 (参考)**」を参照してください。



■接続について

CONT3とCONT4の設定は、収録を行いながら再生動作させる動作になりますので、9ピンケーブル2本で接続して下さい。

<目次>

■デバイスメニュー設定 <通信プロトコルの設定>	3
■MDC-50Tbメニュー設定 <追っかけ再生について>	4
■MDC-50Tbメニュー設定 <EXT TC で動作させる場合>	5
■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！	6
■MDC-50T bメニュー設定 <SRMASTER 使用時にメニュー設定> ...	7
■VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）	8
■接続後の動作確認について	11

<履歴>

年月	内容	
2012年11月	SR MASTER 項 追加	
	EXT TC 明確化	
2013年3月1	SRMASTER 記載追記	

■デバイスメニュー設定 <通信プロトコルの設定>

<XDCAM Station>

XDCAM Station のメニューを切り替えて下さい。

項目番号	項目名	設定
208	PROTOCOL FOR REMOTE(9P)	VDCP

<SRMASTER SR-R1000>

SRMASTER のメニューを切り替えて下記の設定を行って下さい。

項目(リモート制御の設定)	設定
HOME メニュー → ALT → F10(Remote Comand) → F2(Remote Protocol)	VDCP

※MDC-50Tb で使用するポート全て切り替えて下さい。

※SRMASTER の使用するポートを REMOTE 状態にして下さい。

項目(タイムデータの設定)	設定
TC メニュー → F5 TM SEL	TM2

※切り替えは F10 キーで行います。

※MDC-50Tb は TM2(ファイルの先頭を0とするタイムコード)を使用して制御を行い表示は LTC を表示しています。

その関係で、SR 側スーパー表示も TM2 の表示になります。

LTC を確認する時は MDC-50Tb の表示で確認して下さい。

■MDC-50Tbメニュー設定 <追っかけ再生について>

<XDCAM Station>

下記のメニューを300(10秒)に設定して出荷しています。

10秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	“0~999” (Def = 300) 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※Port1収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、XDCAM Station(XDS-2000)の仕様に起因ます。

300(10 秒)は弊社動作確認時に問題なく動作した数値です。

※追っかけ再生は 10 秒後の TC へ CUEUP を行い再生していますが、
CUEUP までのタイムラグの関係で約 1 秒程遅れて再生されます。

<SRMASTER >

下記のメニューを 30 に設定して下さい。

1秒での追っかけ再生が可能になります。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	RecTcSc hDly	30 “0~999” 収録直後の映像に対する CUE UP 操作に DELAY をかけます

※収録ポートを設定して下さい。

※本設定は、SRMASTERの仕様に起因ます。30(1 秒)は弊社動作確認
時に問題なく動作した数値です。

■MDC-50Tbメニュー設定 <EXT TCで動作させる場合>

<XDCAM Station>

XDCAM Station の設定を変更して下さい。

MENU	設定
638[TC FOR VDCP]	REC : TCG PB : Zero Base

MDC-50Tb は、下記の設定で出荷しています。(変更の必要はありません)

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouTcSnCt	<p>Norma TC センスは 常時 1 種類 (FTC 相当 or LTC 相当)</p> <p>Dual TC センスは 常時 2 種類 (FTC 相当 and LTC 相当)</p> <p>VDCP 機器に対してセンスする TC 種別数を設定します。</p>
RS-422 PORT	CplyRspTc	<p>0-Start</p> <p>X-Start</p> <p>連続再生制御時の VDCP 機器からの TC アンサーの取り扱い指定</p>

※Port1、2両方共設定を行って下さい。

■XDCAM Station で連続再を行う時の注意！

XDS-PD2000 と XDS-PD1000 により、クリップの最小 Duration を調整する必要があります。

下記は弊社で動作検証した Duration です。

出荷時は XDS-PD2000 の値で出荷しています。

XDS-PD2000 ※出荷時設定

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	“0~999” (Def = 30) Frame 連続再生用 IN/OUT の最小デュレーション指定

※P1/P2 両方ポート設定を行ってください。

※収録中に連続再生する場合は、最少クリップ長を 3 秒以上に
して下さい。

XDS-PD1000

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	CPlyMinDur	120 Frame 連続再生用 IN/OUT の最小デュレーション指定

※P1/P2 両方ポート設定を行ってください。

■ MDC-50T bメニュー設定 <SRMASTER 使用時にメニュー設定>

SRMASTER を接続する時は、下記のメニュー設定を行って下さい。

項目	サブ項目	設定
RS-422 PORT	LouSpdStMd	VarZero ダイヤル等スピード制御において静止時にどのコマンドを使用するかの設定
RS-422 PORT	CplyFsPITm	15 連続再生処理のオフセット
RS-422 PORT	CplyRspTc	X-Start 連続再生処理の TC の設定
RS-422 PORT	ShtlMaxType	MAX DialShtl の最大操作位置のスピード
RS-422 PORT	T-BarMaxType	MAX T-Bar の最大操作位置のスピード

※RS-422 PORT 項目はポート毎に設定を行う事が可能です。

■VDCP とVTRプロトコルの設定（参考）

VDCPとVTRプロトコルを切り替える時は下記の MENU 設定を行って下さい。

MENU	詳細	VTR プロトコル	VDCP プロトコル	デフォルト
RS-422 PORT1	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN		VDCP
RS-422 PORT2	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。	9PIN		VDCP
RS-422 PORT3	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。		VDCP	9PIN
RS-422 PORT4	PrtclTyp ※制御プロトコルを選択します。		VDCP	9PIN
RS-422 PORT1	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec		Rec
RS-422 PORT2	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。	Play&Rec		Play
RS-422 PORT3	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。		Rec	Play&Rec
RS-422 PORT4	PortAtr ※制御ポートの属性を選択します。		Play	Play&Rec
RS-422 PORT1	LouSgPtRec ※VDCP の REC 系信号ポート ID の指定	0		-1
RS-422 PORT2	LouSgPtRec ※VDCP の REC 系信号ポート ID の指定	0		0
RS-422 PORT3	LouSgPtRec ※VDCP の REC 系信号ポート ID の指定		-1	0
RS-422 PORT4	LouSgPtRec ※VDCP の REC 系信号ポート ID の指定		0	0

MENU	詳細	VTR プロトコル	VDGP プロトコル	デフォルト
RS-422 PORT1	LouSgPtPlay ※LOUTH の PLAY 系信号ポート ID の指定	0		0
RS-422 PORT2	LouSgPtPlay ※LOUTH の PLAY 系信号ポート ID の指定	0		2
RS-422 PORT3	LouSgPtPlay ※LOUTH の PLAY 系信号ポート ID の指定		0	0
RS-422 PORT4	LouSgPtPlay ※LOUTH の PLAY 系信号ポート ID の指定		2	0
CONSOLE	PortCtlMode ※VTR の制御方法を選択します。		Coupling	Coupling
CONSOLE	P1EveCueArea ※ポート1の CUE データの保管エリア	AREA-A		AREA-A
CONSOLE	P2EveCueArea ※ポート2の CUE データの保管エリア	AREA-B		AREA-A
CONSOLE	P3EveCueArea ※ポート3の CUE データの保管エリア		AREA-C	AREA-C
CONSOLE	P4EveCueArea ※ポート4の CUE データの保管エリア		AREA-C	AREA-D
CONSOLE	P1FlistArea ※ポート1の CUE データの保管エリア	AREA-A		AREA-A
CONSOLE	P2FlistArea ※ポート2の CUE データの保管エリア	AREA-B		AREA-A
CONSOLE	P3FlistArea ※ポート3の CUE データの保管エリア		AREA-C	AREA-C
CONSOLE	P4FlistArea ※ポート4の CUE データの保管エリア		AREA-C	AREA-D

MENU	詳細	VTR プロトコル	VDGP プロトコル	デフォルト
EXTENSION	P1-RecCplg ※P1 選択時の REC コマンド送信ポート指定	0001		0001
EXTENSION	P2-RecCplg ※P2 選択時の REC コマンド送信ポート指定	0010		0001
EXTENSION	P3-RecCplg ※P3 選択時の REC コマンド送信ポート指定		0100	0100
EXTENSION	P4-RecCplg ※P4 選択時の REC コマンド送信ポート指定		0100	1000
EXTENSION	P1-PlayCplg ※P1 選択時 PLAY コマンド送信ポート指定	0001		0010
EXTENSION	P2-PlayCplg ※P2 選択時 PLAY コマンド送信ポート指定	0010		0010
EXTENSION	P3-PlayCplg ※P3 選択時 PLAY コマンド送信ポート指定		1000	0100
EXTENSION	P4-PlayCplg ※P4 選択時 PLAY コマンド送信ポート指定		1000	1000

■接続後の動作確認について

1. 収録を行います。(REC+PLAY)

MDC-50Tb がファイル名(M011xxxx)でファイル名を発番して収録を開始します。

※収録を行う毎に xxxx 部の番号がインクリメントされます。

2. ポート選択ボタンで“ポート1”を選択すると TC が確認可能です。

※この状態“SFT”スイッチを押すと、ファイル名の確認が可能です。

3. 追っかけ再生を開始します。

SFT+PLAY スイッチを押すと、収録ファイル中のファイルを再生ポート(Port2)に読み出し、収録開始点の7秒前 CUE UP して、再生を開始します。

4. ポート選択ボタンで“ポート2”を選択すると TC が確認可能です。

※この状態“SFT”スイッチを押すと、ファイル名の確認が可能です。

上記は簡易動作確認です。

連続再生機能、CUE 機能の詳細は取扱説明書を参照して下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

E-Mail: info@musashi-kk.co.jp

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>
